

福島研究カンファレンスの実績・計画

平成28年11月18日

廃炉国際共同研究センター
(CLADS)

研究カンファレンス(1)

(1) 廃炉に向けた耐放射性センサー及び関連研究に関する国際ワークショップ(実績)

開催日程: 平成28年4月19日、20日

開催場所: いわき産業創造会館(LATOV)6F 企画展示ホール(参加費無料)

講演テーマ:

- ・放射線環境下で利用可能なセンサー技術・計測技術に関する研究開発
- ・耐放射性デバイスの研究開発
- ・スピントロニクス研究
- ・ロボット関連エレクトロニクスの研究開発、等

講演者: 国内外専門家18名、参加者延べ114名(海外専門家13名含む)

(2) 廃炉のための放射線計測研究カンファレンス(実績)

開催日程: 平成28年8月4～6日

開催場所: 福島県楡葉町サイクリングターミナル展望の宿「天神」(参加費無料)

講演テーマ:

- ・廃炉における放射線計測技術の概要
- ・放射線イメージング技術の開発
- ・燃料デブリ計測に向けた技術開発

国内講演者: JAEA、国内大学(東大、北大、静岡大 他)、IRID、東京電力、他
※若手研究者のポスターセッション等

海外研究者: 米SRNL、UCB、Michigan大、英NNL、Lancaster大、仏ILL 他

参加者: 延べ112名(海外専門家22名含む)

研究カンファレンス(2)

(3) 事故廃棄物の安全管理に関する研究カンファレンス(実績)

開催日程:平成28年11月7日～9日(7日:公開、8日:専門家会合:9日:1F及び櫛葉見学)

開催場所:福島県いわき産業創造会館(LATOV)

講演テーマ:

- ・欧米の廃棄物管理の経験と福島事故廃棄物への活用:11月7日
- ・大学、高専での廃止措置関連研究:11月7日
- ・廃棄物安全管理技術(水素安全、腐食研究等):11月8日

国内講演者:国内大学等(東大、東工大、福島大、福島高専他)東京電力、JAEA他

※学生発表としてポスターセッション

海外研究者:米SRNL、英NNL、仏IRSN、加ウエスタン大、他

参加者:延べ110名(海外専門家18名含む)

(4) Research Conference on Remote Technology for Decommissioning

開催日程:平成28年11月24日～25日

開催場所:櫛葉遠隔技術開発センター 多目的室(参加料無料)

講演テーマ:

- ・11月24日:廃炉遠隔技術開発講演、施設見学、他
- ・11月25日:廃炉遠隔技術開発講演、パネルディスカッション、他

国内講演者:東大浅間教授、東京工業大学佐藤准教授、東電村野GM

海外招聘者:英Birmingham大Stolkin教授、豪Curtin大She講師

研究カンファレンス(3)

(5) 事故進展評価、FP挙動の研究カンファレンス(仮称)

開催日程:平成29年4～9月頃(3～4日程度)

詳細は未定

(6) 1F廃止措置及び事故廃棄物処理処分におけるセメント系複合材料の研究カンファレンス(仮称)

※資料3-3参照

開催日程:平成29年5月頃

開催場所:福島県いわき市又は富岡町(「学びの森」の利用が可能な場合)等

講演テーマ:北大名誉教授 佐藤正知先生を主査に企画委員会を設置し検討

(7) Research Conference on Special sessions on actinides in severe accident and post-accident management

詳細は未定(平成29年7月開催のアクチノイド会議に合わせて開催)

(8) Fukushima Research Conference on “Corrosion Prediction and Mitigation for Key Components of Fukushima Daiichi NPP”

※資料3-2参照

福島研究カンファレンス(FRC)について

概要

廃炉関連の基盤研究を取り扱う『福島研究カンファレンス(FRC)』を福島県で継続的に開催し、廃炉研究関連分野における最高ステイタスの会議を開催する。

目的及び効果

- 廃炉に関連する種々の分野で時代をリードする研究者を世界中から招集。
- 学生、若手研究者も当事者として参加し、先導的研究者と議論を交わす。
- 廃炉研究に関心を持つ若手研究者および学生の裾野を広げる。
- 年間を通してこの会議が開催され、福島県浜通に優れた人たちがコンスタントに集まる。当該地方の知名度を押し上げ、福島の地域・産業振興に貢献する。
- 廃炉研究のリーダーシップの一角を日本が担っていることが、世界的に認知される。

研究分野の構成例

- ①核種分析、②過酷事故進展解析、③被ばく防護と除染、④遠隔技術、⑤プロジェクト・マネジメント、⑥コンクリート構造物の保全、⑦腐食予測と防食、⑧検査技術、⑨補修技術、⑩燃料デブリの物性と処理、⑪放射性廃棄物の処分、⑫臨界管理

当面の開催方針

- 福島部門の国際セミナーをFRCとして、廃炉基盤研究プラットフォーム事業の中に位置づける。
- 文科省人材育成公募の枠内外の大学、高専、学協会のトピカルなワークショップ等も、提案を受ければFRCの一つとして位置づけ、CLADSとしてプラットフォーム運営会議参加拠点の協力を得つつ企画・運営を支援することも検討する。